

# 伝言板

No.23(H27.4)



NPO法人 北海道みなとの文化振興機構

## もくじ

「第12回理事会・通常総会」開催 …………… 1	みなとまち活性化イベントの助成事業の 募集について …………… 5
みなと座談会開催 …………… 3	着ぐるみ（みなとのマスコット「ぼーとん」くん、 「べいくりん」ちゃん）貸し付け事業の紹介 …… 7
みなとパネル展の開催 …………… 4	平成27年度 役員・事務局体制…………… 8
北海道開発局防災エキスパート（港湾・空港・漁港） 地区意見交換会（小樽開発建設部） …………… 4	会員募集 …………… 8

## 「第12回理事会・通常総会」の開催

第12回理事会・通常総会は、平成27年2月25日（水）北海道立道民活動センター（かでの2・7）で開催しました。理事会は定数10名の内7名、通常総会は正会員数230名（64団体・166個人）の内69名の方に出席していただきました。

通常総会の開催に先立ち、藤田博昭会長より挨拶を受け、平成26年度事業実施に当たって「みなとサポート業務」、「全道各地で開催された舟漕ぎ大会」を始め、大規模災害発生に備えるための「防災エキスパート研修」などの各事業に、ご協力いただいた会員の方々にお礼を申し上げ、会員皆様の一層のご支援、ご協力をお願いした。また当機構は全道各地の港を核とした、みなとまち作りに取り組んでいることから、各方面で注目されているところであり、これからも真摯な気持ちで活動を進めていただきたいとの願いがありました。

ご来賓いただいた北海道開発局港湾空港部港湾計画島靖課長からは、「港湾を巡る最近の話題について」と「これからもみなと街の活性化、振興を助けていただける機構として活躍してほしい」との、励ましの言葉をいただきました。

議案の審議については、意義なく承認されました。



理事会



総会

## 第1号議案（平成26年度事業報告）

- (1)みなとサポート業務
- (2)ミニパネル展
- (3)広報誌「伝言板」の発刊、ホームページの充実
- (4)着ぐるみ貸し付け事業（有償）
- (5)記念グッズの配布（無償）
- (6)防災エキスパート支援
- (7)みなと座談会
- (8)ネットワーク強化
- (9)情報収集
- (10)助成活動

## 第2号議案（平成26年度収支決算並びに収支決算監査報告）

収入額 4,117,326 円

支出額 3,680,445 円

繰越額 436,881 円

## 第3号議案（平成27年度事業計画）

1. 定款の事業名 港への理解と利用促進に係る  
広報活動支援

- (1)みなとサポート業務
- (2)ミニパネル展
- (3)広報誌「伝言板」の発刊、ホームページの充実
- (4)着ぐるみ「ぼーとん」くん・「べいくりん」ちゃん貸し付け事業（有償）
- (5)記念グッズの配布（無償）

2. 定款の事業名 港湾・空港・漁港の防災業務  
及び災害復旧に係る活動及び支援

- (1)防災エキスパート支援

3. 定款の事業名 まちづくりの推進を図る活動  
等に関する情報収集

- (1)みなと座談会

- (2)ネットワーク強化

4. 定款の事業名 その他、目的を達成するために  
必要な事業

- (1)助成活動

## 第4号議案（平成27年度収支予算計画書）

収入予算額 4,309,881 円

支出予算額 4,200,000 円

繰越予算額 109,881 円

## 第5号議案（理事・監事の選任）

任期満了に伴う理事及び監事の選任について、交代及び増員・減員は無く全員再任されました。

## 特別報告

通常総会終了後、当機構中村信之理事長より「北海道開発局（港湾・空港・漁港）防災エキスパートの活動支援について」と題して報告がありました。

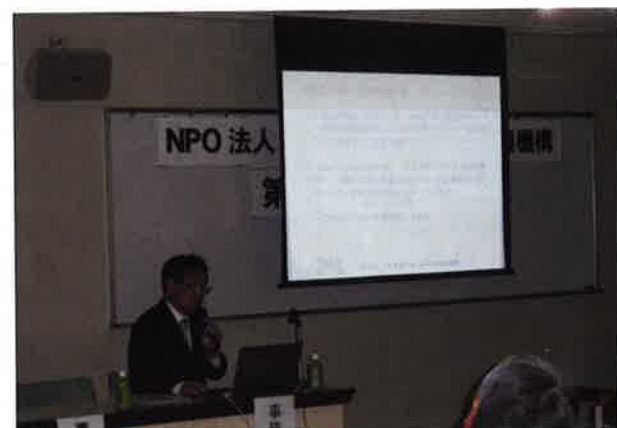
- (1)NPO法人みなとの文化振興機構の事業目的について
- (2)防災エキスパート活動支援について
- (3)防災エキスパート制度について
- (4)他部門における活動状況について



会長挨拶



来賓挨拶



特別報告

## みなと座談会開催

みなとまちの地域づくりについて考える「みなと座談会」は、「北海道みなとまちづくり女性ネットワーク」と共催で、みなとを核としたまちづくりを女性の視点から考え、実際の活動を通じた意見交換の場として、平成16年度より開催しています。

平成26年度は、昨年10月28日(火)29日(水)釧路市で開催しました。

28日は、はじめに数土釧路開発建設部長よりご挨拶をいただき、続いて特別講演の「釧路国際交流ボランティアの会」副会長佐藤洋子・事務局長盛合美智子両氏から国際交流や国際協力活動など地域の国際化を支援し、世界に開かれたまちづくり活動とともに地域の活性化を図る活動の有り様や課題などをご紹介いただきました。

座談会は、「女性の活躍によるみなとまちづくり」と題し、函館、室蘭、苫小牧、紋別、留萌、稚内及び釧路の全道7地区女性ネットワーク各地区代表などによる活動内容の報告を得て、北海道開発局及び釧路市港湾部の皆様を交え意見交換を行いました。

29日は、昨日に続き活動を継続するに当たっての課題などの意見交換後、釧路開発建設部釧路港湾事務所所属の港湾業務艇に乗船し、東港地区の施設の説明を受けて釧路港が北海道民の生活や産業を支える港湾として、大きく飛躍を遂げようと歩んでいることが見て取れました。

### みなと座談会出席団体

ネットワーク名
みなとまちづくり 女性ネットワーク函館
北海道みなとまちづくり 女性ネットワーク室蘭
女性みなと街づくり苫小牧
みなと・まちづくり 女性ネットワークオホーツク
留萌みなとまちづくり 女性ネットワーク
稚内のみなとを考える 女性ネットワーク
釧路港おもてなし倶楽部



## みなとパネル展の開催

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構主催の「みなとパネル展」は、一般市民に港の役割、暮らしとの関わり合いを広く理解して頂くため、毎年「ザ・シンポジウムみなと」の開催に協賛し、また、実行委員会の支援を得て「みなとパネル展」を企画、開催しています。

平成 26 年度の、「ザ・シンポジウムみなと in 札幌」は、平成 26 年 11 月 20 日(木)札幌市中央区の札幌全日空ホテルで開催しました。

パネル展の開催にあたっては、北海道開発局港湾空港部、北海道港湾協会からのご協力を頂き、北海道内の港湾(国際拠点港湾 2 港、重要港湾 10 港、地方港湾 23 港)の「いま、むかし」をテーマに港湾の整備状況を紹介した 12 枚の写真パネルと、港の果たす役割等を紹介する 8 枚のパネルを展示しました。

今回は、札幌で開催されたため、シンポジウム聴講者多数が訪れ、写真パネルを熱心にご覧になる方、また、道内の地方港湾から重要港湾、そして国際拠点港湾を含む港湾の整備状況の写真パネルの前では懐かしそうに、「カメラ」、「写メ」に取める方も多数見受けられ、例年に無い賑わいを感じました。

また、当 NPO 法人の主な活動内容と設立までの経緯を紹介する「北のみんとをもっと身近に」と「NPO 法人みなとの文化振興機構の主な活動内容」の 2 枚のパネルも併せて展示しました。



## 北海道開発局防災エキスパート（港湾・空港・漁港） 地区意見交換会（小樽開発建設部）

北海道開発局防災エキスパート（港湾・空港・漁港）【北地区】（札幌・小樽・留萌・稚内）は、平成 26 年 11 月 27 日(木)午後 2 時 30 分から、小樽開発建設部（小樽港湾事務所）の直轄職員と意見交換会を実施しました。

当 NPO 法人からは事務局で防災エキスパートリーダーほか 7 名と港湾事務所からは 24 名の職員が参加しました。

始めに小樽港湾事務所副所長の案内で港湾業務艇に乗船し、小樽港の港湾施設を港内から視察しました。

意見交換会では、小樽開発建設部次長(港湾農業)、小樽港湾事務所所長からご挨拶をいただき、小樽開発建設部防災対策専門官から、昨今の管内災害発生状況および小樽開発建設部の災害時の対応方策の説明を受けました。

防災エキスパート事務局からは、防災エキスパートの制度要綱、活動要綱、経緯、いままでの活動報告等を説明して意見交換には入りました。質疑のなかで、防災エキスパートに何をしてほしいのか、また、防災エキスパートは何ができるのかについての意見が多くあり、出動要請側、派遣側とのコミュニケーションの構築の重要性を強く感じました。



# みなとまち活性化イベントの助成事業の募集について

NPO 法人「北海道みなとの文化振興機構」では、当機構の目的の一つである「港の効果的、効率的利用の促進や港を核としたまちづくりに係る広報事業を支援する」を図るため助成事業の募集を行います。平成 27 年度の助成事業応募要領は下記のとおりです。

## 助成事業募集要領

### (1)応募要件

道内でみなとまちの活性化をめざし企画・実施されるイベント等において、平成 27 年度に実施予定の本助成を希望する事業とする。

### (2)募集期間および応募方法

募集期間は平成 27 年 4 月 1 日(水)から 5 月 8 日(金)までとし、助成を希望する団体は必要事項を記入の上、別途応募様式を提出する。

### (3)助成金額

1 件当たり助成金額は 15 万円を限度とし、みなとの活性化の効果の大きいと考えられる数件を選定する。

### (4)評価審査委員会の設置

応募された助成希望の事業について、審査を行う機関として設置する。

評価審査委員会は当 NPO 法人理事長の指名によ

り構成する。

評価審査委員会の事務は当 NPO 法人事務局が行う。

評価審査委員会は平成 27 年 5 月中旬に開催し、助成を希望する事業について審査し、採択する。

審査結果については、5 月下旬に郵送で通知する。また、当 NPO 法人のホームページ上で公表する。

### (5)助成金の支払い

助成金については、助成を受ける団体等に対し、イベント等の開催の 2 週間前までに支払う。

### (6)助成を受ける団体の義務

活動を実施するにあたって「NPO 北海道みなとの文化振興機構助成」をうけている旨を明示すること。

### (7)報告

実施結果については、実施後速やかに別途報告様式により提出する。

なお、平成 26 年度は 16 件の応募があり、15 件の事業を採択しています。女性みなと街づくり苦小牧が開催した「チェンパロの演奏&北前船の学び「音楽で綴る北前船の歴史と未来」」を紹介します。

平成 26 年 9 月 21 日(日)苦小牧港西港フェリーターミナルに停泊中の太平洋フェリー「きそ」船内において、「音楽で綴る北前船の歴史と未来」を開催しました。

たくさんの方々に「苦小牧港」へ出向いて頂き、見て・聞いて・ふれて貰う第一弾として、札幌在住のチェンパロ奏者「明楽みゆき」さんの演奏と北前船の歴史を学びました。

当日は約 70 名の方々に参加いただき、5 代前の先祖が北前船の船主だったという明楽さんに、欧州で



応募様式（A-4版）

平成 年 月 日

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構 御中

団体名

代表者名

平成27年度NPO法人北海道みなとの文化振興機構助成事業に応募します。

1 事業名	
2 事業の目的	
3 事業の内容と課題等	
4 共催団体および支援団体	
5 開催場所	
6 開催日時	
7 総予算額（見込み）、本助成金の要望金額および内容	
8 スタッフ人数	
9 参加者見込み人数	
10 過去の開催実績	

報告様式（A-4版）

平成 年 月 日

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構 御中

団体名

代表者名

平成27年度NPO法人北海道みなとの文化振興機構助成事業により、下記のとおり事業を実施しましたので報告します。

1 事業名	
2 事業の内容	
3 共催団体および支援団体等	
4 開催場所	
5 開催日時	
6 スタッフ人数	
7 参加者人数	
8 総支出額、本助成金の使用内容	

※実施状況写真を10枚程度添付すること

チェンバロが多く演奏された頃の北前船と世界の文化のつながりを紹介するとともに「演奏を通じ海を愛した先祖の思いを伝えていきたい」などと話し、ドイツのバロック音楽、バッハの「アヴェマリア」・ヘンデルの「オンブラ マイフ」・アイルランド民謡等の演奏をしていただきました。

これを機会に物流のための港湾としてだけでなく「人流」を意識した海の巷「みなと」として、市民目線の取り組みをさらに進めていきたいと思えます。



今回の企画は、太平洋フェリー(株)・苫小牧港開発(株)の絶大なるご協力でご実現いたしました。

## 着ぐるみ(みなとのマスコット「ぼーとん」くん、「べいくりん」ちゃん)貸し付け事業の紹介

北海道のみなとのキャラクター「ぼーとん」くん、「べいくりん」ちゃんの着ぐるみは、みなとが担う役割を多くの皆様にご理解頂くとともに海やみなとに集う皆様が楽しく過ごしていただく「お手伝いキャラクター」として製作しました。

平成11年1号製作し、ご好評を得たことから平成12年2号製作、平成17年3号を製作、平成26年4号製作し現在4組を有し皆様にご利用いただいています。

海の上を自由に謳歌する「かもめ」を題材に「小さな赤ちゃんかもめ」をイメージしたとても可愛い着ぐるみです。

「ぼーとん」くん、「べいくりん」ちゃんはNPO法人北海道みなとの文化振興機構が平成16年9月特許庁へ出願し平成19年8月商標登録されました。

着ぐるみは、平成18年度まで無料貸し付け事業を実施していましたが、製作後年数を経るとともに色あせ、破損等による維持補修費がかさむことから平成19年度から有料とさせて頂いています。

平成26年の貸付状況は、大型旅客船寄港の歓迎式典やみなとパネル展など10件で利用いただきました。

- ① 函館港みなとパネル展
- ② 石狩湾新港みなと見学会

- ③ 苫小牧港みなとパネル展
- ④ 客船「飛鳥」稚内港寄港歓迎式典
- ⑤ マリンフェスタ in 小樽
- ⑥ 根室港「海とみなと」パネル展
- ⑦ 函館港官公庁船見学会
- ⑧ 苫小牧港みなとフェスティバル
- ⑨ いしかり産業見本市
- ⑩ 元気まちしらおいみなとまつり

着ぐるみキャラクターは、イベントに参加した皆様と握手や写真撮影など賑わいを醸し出しました。

なお、当NPO法人は、平成27年度も貸し付け事業を実施いたしますので、ご希望の方は、ご連絡ください。

ただし、夏の機関は、イベントが集中する時期でもあつてご希望にそえない場合もありますので御了承願います。





## ■平成 27 年度 役員・事務局体制

平成 27 年度「特定非営利活動法人北海道みなとの文化振興機構」役員及び事務局体制をお知らせします。  
 活力あるみなとまちづくりを会員の皆様と共に進めてまいりますので、ご支援よろしくお願ひします。

### 役員

(敬称略・五十音順)

### 事務局

役職	氏名	役職	氏名
会長	藤田 博章	理事	古屋 温美
理事長	中村 信之	理事	宮崎 英樹
理事	岩倉 博文	理事	水野 雄三
理事	大西 育子	理事	妹尾 英世
理事	小泉 信男	監事	上原 泰正
理事	高橋 喜一	監事	中村 弘之

役職	氏名	役職	氏名
事務局長	妹尾 英世	札幌支部長	山本 博
事務局次長	毛利 照男	札幌支部次長	廣田 正俊
事務局次長	福岡 康宣	函館支部長	高森 孝紀
事務局次長	東 志郎	函館支部次長	阿部 俊六
事務局次長	市来 隆	室蘭支部長	中野 克彦
事務局次長	渡部 優	苫小牧支部長	小山 良明
事務局次長	渡辺 修司	釧路支部長	平山 裕義
事務局次長	三原 一憲		
事務局次長	松崎 重貫		

・役員総数 12 名 (理事 10 名、監事 2 名)

## ■会員募集

当 NPO 法人は、地域社会の産業活動の場である港の効果的、効率的利用の促進や港を核としたまちづくりなどにかかる個人及び団体への支援活動を行うために、この事業に賛同される会員各位のご協力により支援活動などを行っています。

今後、支援活動などのより一層の充実を図るため、より多くの皆様が当 NPO 法人が行う支援活動などにご理解・ご賛同願ひ会員登録いただきますようお願いいたします。

会員各位に於かれましても、改めて当法人の趣旨をご理解いただき、会員誘致にご協力をお願いします。

お知り合いの方で入会ご希望の方がいらっしゃいましたら、下記の事務局連絡方法により事務局へお知らせくださるようお願いいたします。追って入会申込書を送付させていただきます。

### 事務局連絡方法

当機構事務局へのご連絡は、下記のいずれかをお願いします。

Tel : 011-727-3710 Fax : 011-727-3710 E-mail : bunka-npo@kanchi.or.jp

なお、事務局は、常駐体制でないことから、ご返事を差し上げるまで一週間程お時間をいただくこともございますので、何卒ご了承をお願いします。

また、当機構の活動状況は、ホームページでご覧になることができます。

<http://www.minatobunka-npo.info/>

特定非営利活動法人  
**北海道みなとの文化振興機構**